

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

前立腺癌に対する、ロボット支援前立腺全摘術と密封小線源治療における術後性機能と治療成績の比較

1. 研究の対象および研究対象期間

2026 年 6 月 1 日から 2031 年 6 月 1 日に昭和医科大学江東豊洲病院泌尿器科で、前立腺癌の診断にてロボット支援前立腺全摘術もしくは密封小線源治療を施行された患者さんです。

2. 研究目的・方法

今日前立腺癌に対する根治治療として、手術（ロボット支援前立腺全摘術）や放射線治療（密封小線源治療）は数多く行われております。今回我々はこれらの治療の術前後の性機能と、治療の有効性を含めた治療成績を、臨床的に後ろ向きに比較検討する事といたしました。本研究は学術研究であり、診療情報を利用します。診療情報は病院内の診療録管理室にて「研究に用いる情報の種類」に記載しました情報を取得いたします。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2031 年 12 月 31 日まで。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

昭和医科大学江東豊洲病院でロボット支援前立腺全摘術もしくは密封小線源治療を施行した患者さんのデータから、患者背景（年齢、入院日、退院日、入院期間、身長、体重、BMI、術前の PSA、生検結果、cTNM）、手術所見（手術時間、出血量、輸血の有無、神経温存術式の有無などの手術内容）、摘出検体病理所見、放射線治療の内容（留置した線源個数、処方線量など）血液検査項目（抹消血検査、生化学検査）、予後（治療後再発の有無、再発後の追加治療内容と経過、治療後死亡の有無）、術中術後合併症の有無と内容、治療前の EPIC、IIEF-5、MSHQ-EjD、EHS と、治療後（3, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24 カ月）の EPIC、IIEF-5、MSHQ-EjD、EHS、PDE5 阻害剤の内服状況を調査項目とします。

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6. 研究組織

研究責任者	昭和医科大学江東豊洲病院	泌尿器科 永田将一
研究分担者	昭和医科大学江東豊洲病院	泌尿器科 野口哲央

研究分担者	昭和医科大学江東豊洲病院	泌尿器科 森田将
研究分担者	昭和医科大学江東豊洲病院	放射線治療科 小林玲
研究分担者	昭和医科大学江東豊洲病院	放射線治療科 師田まどか

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学江東豊洲病院泌尿器科 氏名：永田将一

住所：東京都江東区豊洲 5-1-38 電話番号：03-6204-6201